

校種 幼保 小学 中学 高校 特別支援 学校・園所名 _____

保護者からみた 子どもの心と身体アンケート

記入者 1.父 2.母 3.祖父
4.祖母 5.その他()

記入日
年 月 日

お子様のお名前
ふりがな _____

性別	年齢	学年	クラス	出席番号
男・女	歳	年	組	番

この1～2週間のお子さまの様子を

お聞かせ下さい。次のことがどれくらいありましたか？
あてはまる数字に○をつけてください。
どうしてもわからない時は、Wに○をつけてください。

	あなたのお子さまは、	ない	少しある	かなりある	非常にある	わからない
1	寝つきが悪かったり、眠れていないようだ	0	1	2	3	W
2	テンションがあがり、落ち着かない	0	1	2	3	W
3	いらいらしやすく、ちょっとしたことで怒る	0	1	2	3	W
4	警戒して用心深くなっている	0	1	2	3	W
5	少しのゆれや物音などで、どきどきしたり、びくっとしたりする	0	1	2	3	W
6	あの出来事(大災害)のことをくり返し話したり、話し続けたりする	0	1	2	3	W
7	こわい夢を見たり、うなされたり、夜中に突然起きて叫んだりしている	0	1	2	3	W
8	思い出したくないことを思い出してしまい、つらいと言う	0	1	2	3	W
9	あの出来事についての遊び(津波・地震ごっこ)を繰り返したり、ノートなどに書いたり、絵を描いたりしている	0	1	2	3	W
10	あの出来事に関係すること(TVのニュース・防災訓練や追悼式など)で、過敏な反応(身体の不調、過呼吸、大泣きなど)がある	0	1	2	3	W
11	笑顔が少なく、ぼーっとしたり表情が乏しい	0	1	2	3	W
12	心配かけないように、一人でがまんしている	0	1	2	3	W
13	悲しくて、つらいはずなのに、明るくふるまっている	0	1	2	3	W
14	あの出来事を思い出させる場所などをいやがったり避ける	0	1	2	3	W
15	あの出来事に関係することの話をしたり、聞いたりすることをいやがる	0	1	2	3	W
16	自分を責めたり、自分が悪かったと思っている	0	1	2	3	W
17	「人が信じられない」と言ったり、思っている	0	1	2	3	W
18	「こんなことがあるんだから、どんなにがんばっても仕方ない」と無気力になっている	0	1	2	3	W

過覚醒

再体験

回避マヒ

マイナスの考え

19	以前は一人でできていたことができなくなった	0	1	2	3	W
20	保護者(親など)から離れられない	0	1	2	3	W
21	よく甘えるようになった	0	1	2	3	W
22	外出を怖がるようになった	0	1	2	3	W
23	食べ物や健康について不安を感じている	0	1	2	3	W
24	これからの生活や将来の自分について不安を感じている	0	1	2	3	W
25	いじめられたり差別されるのではないかと心配している	0	1	2	3	W
26	腹痛・頭痛など身体の具合がよくない	0	1	2	3	W
27	涙もろくなったり、落ち込んだりしている	0	1	2	3	W
28	勉強に集中できなくなったり、成績がさがってきた	0	1	2	3	W
29	乱暴(暴言・物を投げる・人にあたるなど)になることがある	0	1	2	3	W
30	登校・登園をいやがる	0	1	2	3	W
31	家族や友達とのつながりを大切にするようになった	0	1	2	3	W
32	やりたいことや将来の目標が見つかった	0	1	2	3	W
33	社会の出来事に関心をもち、自分の意見や考えを述べるようになった	0	1	2	3	W
34	少々の困難にも負けないようになった	0	1	2	3	W
35	感謝する気持ちが強くなり、一日一日を大切にするようになった	0	1	2	3	W

退行

不安

行動変化

成長

a.	大災害の被害(命の喪失・家屋損壊・原発・経済的打撃)は、	0 なかった	1 少しあった
		2 かなりあった	3 非常にあった
b.	大災害前に「つらいこと」(いじめ・暴力・事故・別離など)の経験は、	0 なかった	1 少しあった
		2 かなりあった	3 非常にあった

● お子さまのことで、相談を希望されますか？

1 希望する… 担任、 養護教諭、 スクールカウンセラー、 () ・ 2 希望しない

● お子さまのこと、保護者さまご自身のこと、心のケアについてのご質問など、自由にお書き下さい

「保護者から見た子どもの心と身体アンケート」のご利用法

岩手・宮城・福島県のカウンセラー、教職員らによって作られたアンケートです。子どもにとって身近な人が適切な関わり方と対処法を考えるきっかけにできます。

「学校では元気だけれど、家ではひと言も話さない」など、子どもは学校と家庭で見せる様子が異なることがあり

ます。また、一見問題がなさそうでも、実は大人に心配をかけまいと頑張りすぎていることもあります。家庭での子どもの心と身体・行動について知り、学校と家庭が協力して子どもたちを見守るための体制づくりのきっかけとしてご活用ください。

【注意点】

- 任意回答で実施してください。
- 個別支援につなげるため、お子さまのお名前はできるだけご記入いただいでください。
- 個人情報の取り扱いには十分注意してください。

【使い方】

この冊子の横幅はA3サイズです。A3用紙でコピーできます。